

聖路加国際病院 産婦人科



専門研修プログラム

2006年4月1日版

産婦人科プログラム

・GIO

産婦人科専門医として婦人科疾患を持った患者や妊娠中の患者を適切に管理し、産婦人科の subspeciality の基礎を築くために、妊娠分娩と婦人科疾患の診断、治療における問題解決力と臨床的技能・態度を身につける。

・SBO

A.産婦人科診療の基本 skill

1. 適切に問診を行い、既往歴、妊娠・分娩歴、月経歴、家族歴、現病歴を作成することができる
2. 適切に診察をし、検査を計画し、それを評価することができる
3. Evidence based medicine の考えに従い、適切な診療計画を立てることができる
4. 女性のライフスタイルを見通した診療計画を立てることができる
5. 診察結果、検査結果や診断、治療計画、予測される効果などを判りやすい言葉で患者(あるいはその家族に)に説明できる。
6. インフォームド・コンセントの意義を理解しており、実行が出来る
7. たてられた診療計画を実行することができる。実行できる医療上の skill を有している
8. 問診、診察、検査、診療計画やその実行の過程を適切に評価することができる。また、それに基づいて診療内容を改善できる
9. 診療録に適切に記録し、また他の医師に症例を適切な内容で報告ができる
10. 産婦人科疾患だけでなく、全身疾患に注意を払い consultation を依頼できる。また、他の診療部門からの consultation に応じることができる
11. カウンセリングの重要性を理解しており、その skill を遺伝カウンセリングや不妊カウンセリングだけでなく、癌患者の診療や一般診療にも応用できる
12. リスクマネジメントの意義を理解しており、他職種と協力して医療事故を回避できる
13. チーム医療の重要性を理解しており、他の職種と協力してそれを実行できる
14. 地域医療の意義を理解しており、他施設の医師や医療者と協力して診療にあたる事が出来る

15. 診療、研究などに必要な情報に access し、入手する手段(文献、テキスト、インターネットなど)を知っており活用できる
16. 統計の基本的な考えを理解しており、これを応用できる
17. 臨床研究の計画を立てそれを実行することができる。研究成果を学術雑誌、学会などで発表することができる。
18. 困難な症例や状況に遭遇した場合に、状況を打開するための計画を立て実行ができる
19. 患者にとってよりよい医療を自ら開発することができる。また、患者にとって有益で害のない新しい医療の導入計画を立て実行できる

B.周産期

<診療計画>

- 合併症のある妊娠の治療計画を立て実行ができる。
- 胎児に異常がある妊娠の治療計画を立て実行できる。

<診察>

- 後輩医師に対して全身所見、外診所見、内診所見のとり方を指導できる。

<検査>

- 胎児についてレベル3の超音波断層法検査を実施できる。
- 羊水穿刺を安全に実施できる。
- 羊水穿刺の副作用に対応できる。
- 絨毛検査の意義、方法について説明することができる。

<手術と処置>

- 高度の膣壁、会陰裂傷を修復することができる。
- 吸引分娩の術者を務めることができる。
- 骨盤位牽出術の方法、副作用について説明することができる。
- 帝王切開術の術者を務めることができる。
- 子宮頸管縫縮術の術者を務めることができる。

C.婦人科

<診療計画>

1. 後輩医師を指導しながら、下記のような疾患の診断、治療計画をたて、実行することができる。
 - 子宮筋腫
 - 子宮内膜症
 - 卵巣嚢腫
 - 性行為感染症
 - 外陰膣炎
 - 月経不順
 - 下記のような疾患の診断、治療計画を立て実行することができる。
 - 子宮癌
 - 卵巣癌
 - 子宮脱
 - 子宮奇形
2. 婦人科救急疾患の診断、治療に必要な知識を有しており、実行できる。
3. 婦人科心身症の診断・治療に必要な知識を有しており、実行できる。
4. 合併症のある患者の周術期の管理ができる。

< 診察 >

1. 後輩医師に対して全身所見、外身所見、内診所見の取り方を指導できる。

< 検査 >

1. 子宮鏡検査の適応と限界を理解しており、患者にそれを説明の上、実施できる。
2. コルポスコピー検査の適応と限界を理解しており、患者にそれを説明の上、実施できる。

< 手術と処置 >

1. 後輩医師に対して子宮内容除去術を指導できる。
2. 後輩医師に対して卵巣嚢腫摘出術を指導できる。
3. 後輩医師に対して付属器切除術を指導できる。
4. 子宮筋腫核出術の術者を務めることができる。
5. 腹式子宮全摘術の術者を務めることができる。
6. 膣式子宮全摘術の術者を務めることができる。
7. 性器脱根治手術の術者を務めることができる。
8. 準広汎性子宮全摘術の術者を務めることができる。
9. 広汎性子宮全摘術の術者を務めることができる。
10. 骨盤リンパ節郭清・傍大動脈リンパ節郭清の術者を務めることができる。
11. 腹腔鏡下手術の術者を務めることができる。
12. 子宮鏡下手術の術者を務めることができる。

D.不妊・内分泌・生殖医療

<診療計画>

1. 不妊症の診断を系統だてて実施できる。
2. 不妊カップルの診療計画を立てることができる。
3. 習慣流産に関する診療計画を立てることができる。
4. 妊娠率、累積妊娠率について説明することができる。
5. 習慣流産について、その原因をあげて検索を行い、診療計画を立てることができる。
6. 内分泌疾患の鑑別診断を系統を立てて実施できる。
7. 原発性、続発性無月経の診療計画を立てそれを実施できる。

<診察>

1. 思春期女子の診察ができ、所見を取ることが出来る。

<検査>

1. 子宮卵管造影検査の適応と限界を理解しており、患者にそれを説明の上、実施できる。
2. 選択的卵管造影検査の適応と限界を理解しており、患者にそれを説明の上、実施できる。
3. 女性の発育とそれぞれの時期における内分泌検査の意義を理解している。

<カウンセリング>

1. 遺伝カウンセリングを適切に実行することができる。
2. 不妊カウンセリングを適切に実行することができる。

<手術と処置>

1. 経膈採卵を実施できる。
2. マイクロサージェリーの適応、方法、副作用について説明することができる。

・LS1 OJT

OJTでは、主治医の指導のもと、1人あたり10数名の患者を受け持つ。

<妊娠分娩>

- 正常妊娠
- 正常分娩
- 異常妊娠
- 異常分娩

- 産褥疾患

<女性生殖器およびその関連疾患>

- 月経異常(無月経を含む)
- 不正性器出血
- 更年期障害
- 不妊症
- 外陰・膣・骨盤内感染症
- 外陰・膣・骨盤内腫瘍

<経験できる産婦人科の検査>

- 子宮卵管造影
- 選択的子宮卵管造影
- コルポスコピー
- 子宮鏡

・LS2 勉強会

<カンファレンス>

月曜日

- 8時00分～ morning conference
- 18時00分～ 周産期カンファレンス
- 18時30分～ 術前カンファレンス
- 19時30分～ 産婦人科カンファレンス

火曜日～木曜日

- 8時00分～ morning conference

金曜日

- 8時00分～ morning conference
- 17時00分～ レジデント向けカンファレンス

・EV

- 自己評価 :当院独自の研修手帳と EPOC を用いて、研修の達成度を自己評価する。
- 指導医による評価: 本人独自の評価票記載方式と EPOC への入力を併用して評価を受ける。
- 看護師による評価: 本人独自の評価票記載方式で評価を受け。
- 専門研修医(シニアレジデント)による研修科の評価: 本人独自の評価票入力方式で評価する。